

各 位

大栄環境株式会社
代表取締役 金子 文雄

「2019年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」に対する 応募提案が採択されました。

この度、大栄環境株式会社（本部：神戸市東灘区、代表取締役 金子文雄）は、環境省地球環境局から公募された、「2019年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」（以下、本実証事業）に応募し、同提案が採択されました。

本日、環境省より採択結果が公表されましたので、本実証事業について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 本実証事業の目的

本実証事業は、2018年4月に閣議決定された「第五次環境基本計画」で提唱された「地域循環共生圏」の構築に向け、環境省が、中長期的に大幅なCO2排出削減に資する技術の開発・実証について広く提案を募集し、選定された事業を委託等により実施するものです。

2. 本実証事業の対象分野

- ①交通低炭素化技術開発分野
- ②建築物等低炭素化技術開発分野
- ③再生可能エネルギー低炭素化技術開発分野
- ④バイオマス・循環資源低炭素化技術開発分野
- ⑤社会システム革新低炭素化技術開発分野

3. 地域循環共生圏と弊社グループの取組

地域循環共生圏とは、地域の特性や資源を活用し、小さな循環圏を構築し拡大していくことで地域の活力を生み出しながら、脱炭素化・SDGsの実現を目指していくものです。

2008年3月の第二次循環型社会形成基本計画で提示された「地域循環圏」の考え方をもとに、全国各地で自立分散型のエネルギーシステムや地域新電力の構築、地域課題解決型の新たなビジネスモデル等、様々な取組みが広がっており、この「地域循環圏」を重層的、最適に拡大することで共生圏が実現します。

弊社は、祖業である「廃棄物」を起点としたリサイクル事業、収集運搬業、廃棄物発電、最終処分といった“地域に根差したインフラ事業”を基に、地域との新たな枠組みや、新たな視点での技術革新を行うことで、資源循環ビジネスを魅力あるものとして、地域経済の活性化に繋げ、持続可能な地域循環共生圏を実現します。

廃棄物処理・リサイクル業界では、IoTやAIの活用により業務効率化、人手不足解消、付加価値向上、新たなビジネスモデルの実現などの課題が山積しています。

加えて弊社は、広域な事業展開を行うにあたり、新たな事業所の開設、エネルギー創出事業の計画、収集運搬車両の増加などが進んでいますが、いずれもCO2削減取組みや業務効率化が「部分最適」で行われているため、全体を統合した連携・管理体制の構築による効率的な運用が必要です。

そこで、本事業では当社の事業拠点（発電所・事業所・物流）を『仮想』の地域循環共生圏として捉え、以下のIoTやAIを活用した技術開発・実証とそれらを統合したダイナミックカーボンマネジメントシステムの構築により低炭素社会から脱炭素社会の実現に向けた方向性を提示することを目的としています。

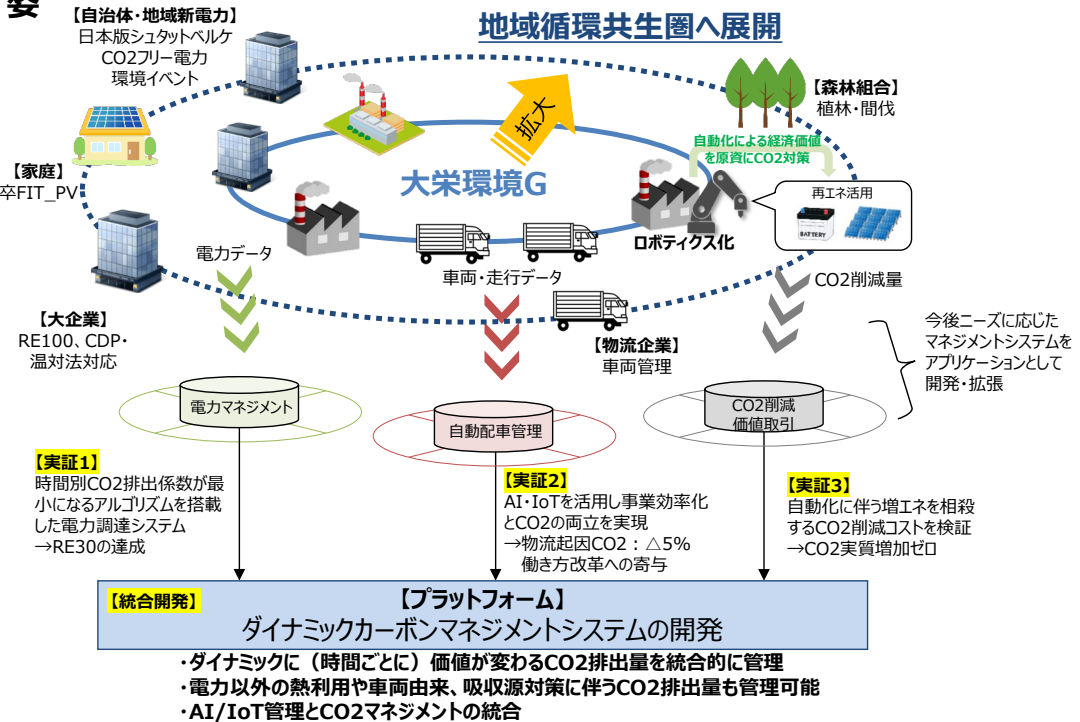
※本実証事業の弊社提案内容

- (1) CO2排出係数を最小化する電力調達マネジメントシステムの実証
- (2) AI・IoTを利用した収集運搬車の自動配車管理システムの実証
- (3) 再エネ活用型自動選別ロボットの实証
- (4) 地域循環共生圏を想定したダイナミックカーボンマネジメントシステムの実証

以上

下図は、業界の枠組みにとらわれることなく、新たな発想で環境・エネルギー分野の未来社会をデザインしていくとともに、本実証事業により、地域循環共生圏におけるCO2削減と経済性の両立を実現可能なものとし、RE100を目指す企業や日本版シュタットベルケの実現を目指す自治体への展開支援等、弊社の目指す姿を表したものです。

目指す姿



■お問合せ先

大栄環境株式会社

管理本部 総務部 大塚健護

電話：078-857-6600

Mail：ootuka8365@dinsgr.co.jp

大栄環境グループホームページ <http://www.dinsgr.co.jp/> :